

テレワークの種類	在宅勤務	モバイルワーク	サテライトオフィス	狙い	生産性向上	移動時間短縮	非常時の事業継続	顧客満足度向上	WLB向上	オフィス費用削減	通勤弱者対応	創造性向上	優秀な人材確保	省エネ・CO2対策
	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

企業の概要

社名	株式会社イマクリエ	都道府県	東京都
業種	情報通信業	従業員数	120人
事業概要	アウトソーシングサービス・テレワーク導入支援		

テレワーク実施概要

雇用上の規定	就業規則に規定
テレワーク担当部署	管理部
テレワーク対象者	全社員
実施者数	120人
実施日数	少なくとも週1回。人によっては週5回

テレワークの導入・拡大の経緯

きっかけは、2011年に発生した東日本大震災。通勤が難しくなってしまった従業員がいたので、混乱が落ち着くまでの間という期限つきでテレワークを取り入れた。その後、2014～2015年にかけて総務省が実施した「テレワークモデル実証」に参加し、システムや労務管理などを整備。この実証によってテレワークが拡大可能なものだと実感し、自社での本格的な導入と、事業として導入支援を行う方向に舵を切る。

テレワークの概要・特徴

ほとんどの社員がテレワークを活用しており、場所や時間にとらわれることなく柔軟に働けるよう推進している。

システム面では、データセンター内に構築した仮想デスクトップ環境にテレワーカーがアクセスし、そこからVPN経由で本社やサテライトオフィス、そしてお客さまのシステムに接続する方式を採用。すべての作業は仮想デスクトップ上で行われるため、情報漏えいの心配がなく安全に業務を遂行できる。

社員同士の連絡にはチャットツールを利用してコミュニケーションをとるようにする、スカイプで随時面談を行うなど様々なシステムを利用して従業員間のディスコミュニケーションを防ぎ、勤怠管理においてはクラウド型の勤怠管理システムを使用しどこでも利用できるようにするなど、柔軟性の高い働き方ができる環境となっている。

テレワーク導入の効果（経営にもたらした効果、その他効果）

テレワークという勤務形態上、日本全国に求人を出すことが可能。各地にいる優秀な人材の確保に大いに役立っている。弊社においては特に、子育て中のお母さんや家で介護中など、なかなか外に働きに出られない事情を抱えた方や家で働きたい方など、「働きたいのに働けない」という人材も多く採用しており、テレワークを行ってもらうことで企業の人材不足にアウトソーシングサービスとして提供できており事業拡大につながっている。